

正答

問題番号		解 答	配点	備 考
1	問 1	- 4	2	
	問 2	$4a^2b^2$	2	
	問 3	$x^2 - 6x + 9$	2	
	問 4	$3\sqrt{6}$	2	
	問 5	35 (度)	2	
	問 6	$(x =) - 3, 2$	2	
	問 7	(点)K	2	
	問 8	$(n =) 12$	2	
	問 9	$(y =) 5x^2$	2	
	問 10	$(x =) \sqrt{21}$	2	
	問 11	(1 , 3)	2	
	問 12	$(x =) \frac{12}{5}$	2	
	問 13	$(b =) 3$	2	
	問 14	7 (cm)	2	

解説

1 問1 $(-8) \div 2 = -(8 \div 2) = -4$

問2 $4a \times ab^3 = 4 \times a^2b^3 = 4a^2b^3$

問3 $(x-3)^2 = x^2 - 2 \times 3x + 9 = x^2 - 6x + 9$

問4 (与式) $= 2\sqrt{6} + \sqrt{6} = (2+1)\sqrt{6} = 3\sqrt{6}$

問5 三角形の外角の性質から, $x + 70 = 105$ $x = 35$

問6 整理して, $(x+3)(x-2) = 0$, $x = -3, 2$

問7 NとLが重なることが読み取れるので, その隣であるKがAと重なる。

問8 $\frac{n}{4}$ と $\frac{n}{6}$ がともに自然数となるのは, n が4と6の公倍数であるとき。最も小さい n は4と6

の最小公倍数だから, $n = 12$

問9 二乗に比例するので, $y = ax^2$ として, $x = -2$, $y = 20$ を代入すると, $20 = a \times 4$, $a = 5$

問10 直角三角形なので, 三平方の定理より, $5^2 + 2^2 + x^2$ $x > 0$ より, $x = \sqrt{21}$

問11 2つの式から, $2x+1 = -x+4$ より, $x = 1$ これを $y = 2x+1$ に代入して, $y = 2 \times 1 + 1 = 3$

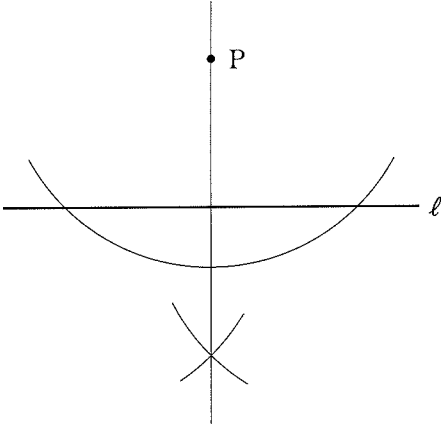
問12 三角形は相似であるから, $x : 4 = 3 : 5$ より, $5x = 12$ $x = \frac{12}{5}$

問13 反比例の式だから $y = \frac{a}{x}$ として, $x = 6$, $y = 1$ を代入すると, $1 = \frac{a}{6}$ $a = 6$

よって, $y = \frac{6}{x}$ に $x = 2$, $y = b$ を代入して, $b = \frac{2}{6} = 3$

問14 円柱の高さを h cmとする。 $\times 3^2 \times h = 63$ $h = 7$ (cm)

正答

問題番号		解 答	配点	備 考
2	問 1	(例) 	4	
	問 2	10 (通り)	3	
	問 3	$(a =) \frac{1}{3}$	4	

解説

2 問 1 P から l 上に等距離の点を取り，等距離の点からさらに等しい点をとる。

問 2 硬貨の組み合わせは，(100，50)，(100，10)，(100，5)，(100，1)，(50，10)，(50，5)，(50，1)，(10，5)，(10，1)，(5，1) で，合わせた金額は，150 円，110 円，105 円，101 円，60 円，55 円，51 円，15 円，11 円，6 円の 10 通りになる。

問 3 点 A は $y = ax^2$ 上の点で， x 座標が 3 より，A (3， $9a$) とおく。また，B は $y = 2x - 7$ 上の点で， $x = 3$

より， $y = 2 \times 3 - 7 = -1$ B (3，-1) $AB = 4$ より， $9a - (-1) = 4$ $9a = 3$ $a = \frac{1}{3}$

正答

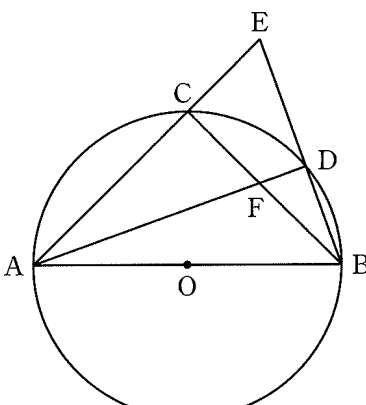
問題番号		解 答	配点	備 考
3	問 1	(例) $\begin{cases} 2x + 3y = 4700 & \dots\dots \\ 3(x - 200) + 5(y - 100) = 6300 & \dots\dots \end{cases}$ より $3x + 5y = 7400 \quad \dots\dots$ $\times 3 - \quad \times 2 \text{ より}$ $- y = - 700$ よって $y = 700$ に代入して $2x + 2100 = 4700$ $2x = 2600$ したがって $x = 1300$ 答え $\left(\begin{array}{l} \text{大人 1 人の入館料 1300 円} \\ \text{子ども 1 人の入館料 700 円} \end{array} \right)$	6	
	問 2	(例) b, c, d をそれぞれ a を用いて表すと, $b = a + 1, c = a + 2, d = a + 3$ となる。 よって $bc - ad = (a + 1)(a + 2) - a(a + 3)$ $= a^2 + 3a + 2 - a^2 - 3a$ $= 2$ したがって, $bc - ad$ の値はつねに 2 になる。	6	

解説

3 問 1 入館料に対して, 2 つ式をたてればよい。

問 2 b, c, d は, $b = a + 1, c = a + 2, d = a + 3$ と表せる。 $bc - ad = (a + 1)(a + 2) - a(a + 3) = a^2 + 3a + 2 - a^2 - 3a = 2$ よって, $bc - ad$ の値は常に 2 である。

正答

問題番号		解 答	配点	備 考
4	問 1	 <p>(例)</p> <p>AFC と BEC において</p> <p>仮定より</p> <p>$AC = BC$</p> <p>AB は円の直径だから、円周角の定理より</p> <p>$\angle ACF = 90^\circ$</p> <p>また</p> <p>$\angle BCE = 180^\circ - \angle ACF$</p> <p>$= 180^\circ - 90^\circ$</p> <p>$= 90^\circ$</p> <p>, より</p> <p>$\angle ACF = \angle BCE$</p> <p>弧 CD に対する円周角は等しいから</p> <p>$\angle CAF = \angle CBE$</p> <p>, , より</p> <p>1 辺とその両端の角がそれぞれ等しいから</p> <p>$\triangle AFC \cong \triangle BEC$</p>	7	
	問 2	(1)	$180 - 2a$ (度)	3
		(2)	$\frac{14}{3}$ (cm)	5

解説

4 問 1 三角 ABC は AB が直径だから、 $\angle ACB = 90$ 度であることを見抜くことがポイント。

問 2 (1) $BD = CD = ED$ より、 $\triangle DBE$ は二等辺三角形だから、 $\angle EDB = 180 - 2a$ (°)

(2) $\triangle ABC$ と $\triangle DBE$ は 2 組の角がそれぞれ等しいので相似である。よって、 $AB : DB = BC : BE$ $6 :$

$$2 = 4 : BE \quad 6BE = 8 \quad BE = \frac{4}{3} \text{ (cm)} \quad \text{よって、} AE = 6 - \frac{4}{3} = \frac{14}{3} \text{ (cm)}$$

正答

問題番号		解 答		配点	備 考
5	問 1	(1)	5 (cm)	3	
		(2)	(例) 給水を始めて 12 分後から 18 分後までのグラフの傾きは $\frac{30 - 20}{18 - 12} = \frac{5}{3}$ であるから, x と y の関係の式は $y = \frac{5}{3}x + b$ と表せる。 グラフは点 (18, 30) を通るから $30 = \frac{5}{3} \times 18 + b$ $30 = 30 + b$ よって $b = 0$ したがって, 求める式は $y = \frac{5}{3}x$ 答え ($y = \frac{5}{3}x$)	7	
	問 2	5 (分) 12 (秒後)		6	

解説

5 問 1 (1) グラフより 水面は 8 分間で 20 cm 上昇しているので 1 分間では $\frac{20}{8} = \frac{5}{2}$ (cm) 上昇する。

よって, 2 分後の水面からの高さは, $\frac{5}{2} \times 2 = 5$ (cm)

(2) 求める直線の傾きは, $(30 - 20) \div (18 - 12) = \frac{10}{6} = \frac{5}{3}$ 直線の式を $y = \frac{5}{3}x + b$ とおく。(12, 20) を

通るので, $20 = \frac{5}{3} \times 12 + b$ $b = 0$ したがって, 求める式は $y = \frac{5}{3}x$

問2 底面 B 上の水面の高さは、(底面 A の面積) = 2(底面 B の面積) より、4 分で 20 cm になる。また、

4 分後の底面 A 上の水面の高さは $\frac{5}{2} \times 4 = 10$ (cm) である。残りの 6 cm は 1 分間に $\frac{5}{2} \times 2 = 5$ (cm) の

割合で水位が上昇するので、水を入れ始めてから x 分後に A 上の水面の高さが 16 cm になるとすると、

$$5(x - 4) = 6 \quad x = \frac{26}{5} = 5\frac{1}{5} = 5\frac{12}{60} \quad \text{よって、5 分 12 秒後}$$

正答

問題番号		解 答		配点	備 考
6	問 1	(1)	$\frac{1}{5}$	3	
		(2)	(例) <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">5</div> と <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">6</div> </div>	3	
	問 2	(1)	(例) Aさんは右端のメダルを白から黒に2度目に裏返したところで【操作】が終了したから、Aさんが裏返したメダルの枚数は、30枚である。 Bさんは左から2番目のメダルを白から黒に3度目に裏返したところで【操作】が終了したから、Bさんが裏返したメダルの枚数は、 $(4n+2)$ 枚と表すことができる。 AさんとBさんが裏返したメダルの枚数は等しいから $30 = 4n + 2$ よって $n = 7$ <div style="text-align: right;">答え ($n = 7$)</div>	7	
		(2)	2, 6	5	

解説

6 問1 (1) カードは全部で10通り。そのうち、4枚のメダルが黒になるのは、カードの数が4, 6に

なる2通り。よって、求める確率は $\frac{2}{10} = \frac{1}{5}$

(2) カードを2枚ひくとき、カードの和は3以上19以下。そのうち、左端のみ黒になるのは、和が11のとき。よって、2枚のカードの組み合わせは、(1, 10), (2, 9), (3, 8), (4, 7), (5, 6) のいずれか。

問2 (1) メダルを裏返した回数は、Aさんが10枚のメダルの右端のメダルを白から黒に2回目にしたとき、 $10 + 10 + 10 = 30$ (回目)、Bさんが左から2番目のメダルを白から黒に3回目に裏返したとき、 $4n + 2$ (回目) この回数は等しいので、 $30 = 4n + 2$ $4n = 28$ $n = 7$

(2) カードの和は 55 以下なので, A さんのメダルがすべて黒くなるのは, 10 回目, 30 回目, 50 回目。
B さんのメダルがすべて黒くなるのは, n 回目, $3n$ 回目, $5n$ 回目, $7n$ 回目, ... よって, 10, 30, 50
が (奇数) \times (10 より小さい自然数 n) に表されるものを選ぶ。 $10 = 5 \times \boxed{2}$ $30 = 5 \times \boxed{6}$, $15 \times \boxed{2}$ $50 =$
 $25 \times \boxed{2}$ より, $n = 2, 6$